



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第445号

2020年3月2日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

教育委員会の方針転換は容認できない

開会中の市議会の2月26日、代表質問（市民クラブ、公明党など）のなかで、施設一体型の小中一貫校を設置すべきとの質問に対し、市教育委員会は、地元阿蘇・米本地域の4校PTA連絡協議会から市教育委員会宛てに要望書が提出されたことを受け、施設一体型の小中一貫校を令和4年4月の開校に向け、阿蘇中学校に設置するとの答弁を行いました。

同日午後、日本共産党の代表質問で伊原議員は、「昨年2月、議員への説明会で市教育委員会は、施設一体型の小中一貫校を断念し、施設分離型で進める」としていたのに、この決定を覆して、PTAからの要望だとして、施設一体型の小中一貫校というのは、議会と市民に対する背信行為であり、絶対に容認できないと撤回を求めました。

教育長は、「阿蘇中に施設一体型の小中一貫校を設置すると決定はしていない」と先の答弁を修正せざるを得なくなりました。



米本団地から小学校をなくす暴挙は止めよ

2016年、それまでの小学校3校の統合として進めてきた市教育委員会は、突如「阿蘇中学校に4校統合の小中一貫校」に変更すると方針転換、すぐに米本団地住民は「団地から小学校をなくすな」と存続に向け署名運動を展開、3600名の署名を集めました。

このような住民の声に押されて、2019年2月、新たに「施設分離型の小中一貫校」として、米本南小学校に小学校3校を統合すると方針転換を行ったのです。

阿蘇小学校の増改築こそ、市教育委員会が決断すべき

特に、阿蘇小学校は、児童数が今後増え続け、1学年2クラスとなり教室不足となっています。児童が増えているのに、なぜ統廃合を進めるのでしょうか、子どもたちの最善の利益は、子どもたちが生き生きと学べる教育環境づくりです。

国際人を育てるとして英語教育の充実の名のもと施設一体型の小中一貫校にしてしまっていて、阿蘇小学校がなくなれば、地域からコミュニティが失われ、地域を衰退に追い込んで行くだけです。人口減少をいかに食い止めるかは、行政の最重要課題の一つです。

市教育委員会が今やるべきことは、阿蘇小学校の児童数の増に対し、増改築を進めることです。

委員会・本会議への議会傍聴を呼びかけます

「施設一体型の小中一貫校」を求める請願が、3日の文教経済常任委員会で審議されます。19日の本会議。総括審議が行われます。住民の声が届く議会となるよう、多くの市民の参加を呼びかけます。